

北 本 市 教 育 委 員 会 令 和 2 年 第 4 回 臨 時 会 会 議 録				
1 日 時	令和2年7月15日(水) 午後3時30分から午後4時33分まで			
2 場 所	市役所 会議室3-E			
3 教育長の氏名	清水 隆			
4 出席した委員の氏名	一	精張 龍代 大保木道子	二	委員 金井 裕
	三	委員 安田美詠子	四	委員 久保田篤正
	五	委員 加藤潤一		
5 欠席した委員の氏名	なし			
6 説明のため出席した職員	大竹教育部長、櫻井教育総務課長、坂口学校教育課長、山下学校教育課副課長、田中学校教育課主幹			
議案及び報告件名	議 事 の 大 要			
1 開会の宣言	清水教育長： 北本市教育委員会第4回臨時会を開会する。			
2 会議録署名委員の指名について	清水教育長： 本日の会議録の署名委員については、5番の加藤委員にお願いする。			
3 非公開案件の発議	清水教育長： 本日の案件は、議案が1件である。なお、本日の教委議案第43号については教育行政の意思決定に関する案件のため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定により、非公開審議とすることとしてよいかお諮りする。 — 全員、異議なしの声 —			
	清水教育長： この案件に関しては非公開で審議することに決する。			
4 非公開審議	清水教育長： 非公開審議に入る。			
(1) 教委報告第43号「令和3年度使用中学校用教科用図書選定について」	清水教育長： それでは、教委議案第43号「令和3年度使用中学校用教科用図書選定について」、学校教育課長より、説明をお願いする。 学校教育課長： (学校教育課教委議案第43号の説明) 清水教育長： それでは、順次、教科ごとに委員のご意見をお伺いしたい。また、第七採択地区においては、第3希望まで報告する必要があるため、各委員の第3希望までの考えを伺ったうえで、意見を集約し各教科の順位を決定させていただきたいと思う。 それでは最初に、国語からお伺いする。			
	大保木委員： 教育出版、光村図書、東京書籍の順に考える。教育出版は関			

連図書が充実していること、学習の見込みがたてられることが理由である。

金井委員： 教育出版、光村出版、東京書籍もしくは三省堂のどちらかで考える。特に図を併用し理解しやすく作られていると感じたためである。

安田委員： 光村出版、三省堂、教育出版である。光村書店は文法や漢字の振り返り学習がよいこと、学習過程と学習の手引きが視覚化されていることが理由である。

久保田委員： 光村図書、三省堂、教育出版である。光村図書は見やすく、現在使用していることから馴染みもあるためである。

加藤委員： 三省堂、光村図書、東京書籍である。見やすさ、読みやすさを重視した。

清水教育長： 各委員の意見を総合すると、現在使用していることもあり、光村図書、二番目が教育出版、続いて三省堂でとりまとめてよろしいか伺う。

— 全員、異議なしの声 —

清水教育長： 続いて、書写について伺う。

大保木委員： 教育出版、三省堂、光村図書の順である。特に、教育出版について、書に関する周辺知識が充実していると感じる。

金井委員： 大保木委員と同意見である。

安田委員： 三省堂、教育出版、東京書籍である。

久保田委員： 光村図書、教育出版、東京書籍の順である。

加藤委員： 三省堂、東京書籍、光村図書である。

清水教育長： 三省堂と教育出版で意見が割れたが、教育出版について、書に関する周辺知識が充実していると意見もいただいたので、教育出版、三省堂、光村図書で決定してはいかかがか。

— 全員、異議なしの声 —

清水教育長： 続いて、社会地理的分野でのご意見を伺う。

大保木委員： 日本文教、教育出版、東京書籍である。地形から見た地域の特徴がよくかかれているためである。

金井委員： 東京書籍、教育出版、日本文教の順である。

安田委員： 帝国書院、教育出版、東京書籍の順である。

久保田委員： ページの見やすさ及び分量のバランスから東京書籍、つづいて帝国書院、教育出版である。

加藤委員： 帝国書院、東京書籍、教育出版である。帝国書院は写真が場所のイメージをつかみやすくできていると感じたためである。

清水教育長： 各委員すべてに共通しているのが、東京書籍及び教育出版である。意見を尊重し、東京書籍、教育出版、帝国書院の順でいかがか。

— 全員、異議なしの声 —

清水教育長： 続いて、社会歴史的分野である。

大保木委員： 教育出版、東京書籍、日本文教である。教育出版は起こった出来事を中心に歴史を説明していることを評価した。

金井委員： 東京書籍、帝国書院、日本文教の順である。

安田委員： ページの右側に時代が記入してあり、非常に見やすいことから帝国書院を評価した。続いて、東京書籍、教育出版の順である。

久保田委員： 東京書籍、帝国書院、山川出版の順である。

加藤委員： 山川出版、教育出版、東京書籍の順である。

清水教育長： 委員に共通しているのは東京書籍である。続いて多いのが帝国書院、教育出版であるため、この順で意見をとりまとめていようか。

— 全員、異議なしの声 —

清水教育長： つづいて、社会公民的分野である。

大保木委員： 東京書籍である。内容的にも踏み込んでいると感じたためである。続いて、教育出版、帝国書院である。

金井委員： 東京書籍、教育出版、日本文教の順である。

安田委員： 帝国書院、東京書籍、教育出版である。帝国書院は章の振り返りが、問題形式と話し合い形式で構成されている点を評価した。

久保田委員： 東京書籍、帝国書院、教育出版の順である。

加藤委員： 教育出版、東京書籍、帝国書院の順である。

清水教育長： 意見が多かったのが、東京書籍。その次が教育出版。そして、帝国書院の順であるが、よろしいか。

— 全員、異議なしの声 —

清水教育長： 続いて地図である。

大保木委員： 立体的で見やすく帝国書院である。

各委員： —賛同の声—

清水教育長： それでは、帝国書院、東京書籍の順とする。

— 全員、異議なしの声 —

清水教育長： 続いて数学である。

大保木委員： 東京書籍、学校図書、教育出版の順である。東京書籍は特に例がわかりやすいと感じる。

金井委員： 理解度の高い生徒も苦手とする生徒も対応できると考え大日本図書とした。続いて、東京書籍、教育出版の順である。

安田委員： 啓林館、東京書籍、大日本図書である。導入のイラストがシンプルで分かりやすいことや巻末の問題もよい点を評価し啓林館とした。

久保田委員： 得手、不得手関係なく見やすいと思われることから東京書籍、続いて、学校図書、教育出版の順である。

加藤委員： 東京書籍、数研出版、学校図書の順である。

清水教育長： 各委員の東京書籍の評価が高いことから、最初に東京書籍。続いて、人数の多かった学校図書。そして、教育出版でとりまとめたいが、いかがか。

— 全員、異議なしの声 —

清水教育長： 続いて理科である。

大保木委員： 教育出版、啓林館、大日本図書である。実験観察の写真がとも見やすく教育出版とした。

金井委員： 教育出版、学校図書、啓林館の順である。

安田委員： 教育出版、大日本図書、学校図書である。実験観察の写真が見やすい点を評価し教育出版とした。

久保田委員： 啓林館、教育出版、東京書籍の順である。

加藤委員： 東京書籍、学校図書、教育出版の順である。

清水教育長： 各委員のご意見から教育出版を1番目。続いて啓林館と学校図書は3名ずつの方よりあがっているが、比較的順位の高い啓林館、続いて学校図書の順としてよいか。

— 全員、異議なしの声 —

清水教育長： 続いて、音楽一般である。

大保木委員： 教育芸術社である。親しみやすい曲が多く、曲数についても多い点からである。

金井委員： 教育芸術社である。

安田委員： 教育出版である。

久保田委員： 教育芸術社である。

加藤委員： 教育芸術社である。

清水教育長： それでは、教育芸術社、教育出版の順とする。

— 全員、異議なしの声 —

清水教育長： 続いて、音楽器楽である。

大保木委員： 楽器の使い方が詳しく描かれているため教育芸術社である。

金井委員： 大保木委員と同意見である。

安田委員： 教育出版である。

久保田委員： 教育芸術社である。

加藤委員： 教育芸術社である。

清水教育長： それでは、教育芸術社、教育出版の順でよろしいか。

— 全員、異議なしの声 —

清水教育長： 続いて、美術である。

大保木委員： 光村図書、開隆堂、日本文教である。

金井委員： 開隆堂、光村図書、日本文教である。開隆堂については、美術を通じて社会との関連がみられることより選択した。

安田委員： 説明が分かりやすいため日本文教、開隆堂、光村図書である。

久保田委員： 開隆堂、光村図書、日本文教の順である。

加藤委員： 光村図書、開隆堂、日本文教の順である。

清水教育長： それでは、1及び2位にあげた委員が多い、開隆堂、続いて、光村図書、日本文教の順でいかがか。

— 全員、異議なしの声 —

清水教育長： 続いて、保健体育である。

大保木委員： 一年生で「性」とりあつまっている点を評価し学研教育みらい、次に、大日本図書、大修館の順である。

金井委員： 全体的なバランスを考慮し大修館、続いて東京書籍、大日本図書である。

安田委員： 大修館である。枠などレイアウトが見やすく感じたためである。次に、学研みらい、東京書籍である。

久保田委員： 構成が分かりやすかったため大修館、次に東京書籍、学研教育みらいである

加藤委員： 東京書籍、大修館、学研教育みらいである。

清水教育長： 大修館が意見として多く、続いて順位が高かったのが東京書籍、そして学研教育みらいの順で意見多かったがいかがか。

— 全員、異議なしの声 —

清水教育長： 続いて、技術家庭科の技術分野である。

大保木委員： 開隆堂、東京書籍、教育図書である。全体として新しい知識が多く盛り込まれていたため開隆堂とした。

金井委員： 大保木委員と同意見である。

安田委員： 私も大保木委員と同意見である。

久保田委員： 開隆堂、教育図書、東京書籍である。

加藤委員： 東京書籍、開隆堂、教育図書である。

清水教育長： 意見として多かったものは、開隆堂、続いて東京書籍、教育図書となるが、これでよろしいか。

— 全員、異議なしの声 —

清水教育長： 続いて、技術家庭科の家庭分野である。

大保木委員： 写真が多く非常に見やすい点を評価し開隆堂、東京書籍、教育図書である。

金井委員： 大保木委員と同意見である。

安田委員： 大保木委員と同意見である。

久保田委員： 開隆堂、教育図書、東京書籍である。

加藤委員： 東京書籍、開隆堂、教育図書である。

清水教育長： 委員の中で多かったご意見は、開隆堂、東京書籍、教育図書となるが、この順でよろしいか。

— 全員、異議なしの声 —

清水教育長： 続いて、英語である。

大保木委員： 開隆堂、教育出版、東京書籍である。開隆堂は非常に分かりやすくかかっている点を評価した。

金井委員： 東京書籍、開隆堂、光村図書である。

安田委員： 单元ごとに学習を振り返ることができる点で啓林館、続いて、開隆堂、東京書籍である。

久保田委員： 開隆堂である。小中学校間の連携が取れている点を評価した。続いて、東京書籍、三省堂である。

加藤委員： 東京書籍、開隆堂、三省堂である。

清水教育長： 意見を集約すると、開隆堂の評価が高く、続いて東京書籍、三省堂となるがよろしいか。

— 全員、異議なしの声 —

清水教育長： 最後に道徳である。

大保木委員： 教育出版、光村図書、学研教育みらいの順である。教育出版は最も読みやすい印象であった。

金井委員： 学研教育みらい、教育出版、光村図書である。

安田委員： 学研教育みらい、教育出版、東京書籍である。SNSなどを内容で取り扱う点を評価した。

久保田委員： 学研教育みらい、光村図書、教育出版とした。

加藤委員： 光村図書、学研教育みらい、東京書籍である。

<p>4 閉会の宣言</p>	<p>清水教育長： 多く評価があった、学研教育みらい、続いて、教育出版、光村図書でいかがか。</p> <p>— 全員、異議なしの声 —</p> <p>清水教育長： その他、ご意見等ございますでしょうか。</p> <p>— 特に意見なし —</p> <p>清水教育長： 教委議案第43号については、可決とする。</p> <p>清水教育長： 以上をもって、北本市教育委員会第4回臨時会を閉会する。</p>
	<p>北本市教育委員会会議規則第17条の規定により、署名する。</p> <p>令和2年 7月 22日</p> <p>教育長 <u>清水 隆</u></p> <p>署名委員 <u>加藤 潤一</u></p> <p>書記 <u>栗原 弘行</u></p>